

資源申請者証明書 発行マニュアル

第 5.1 版

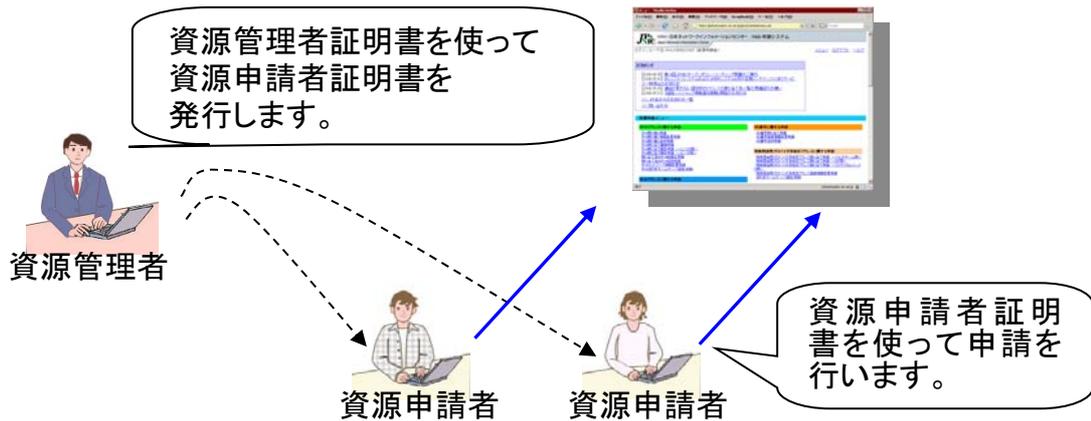
目 次

1. 資源申請者証明書の管理.....	1
1.1. Web 申請システムにおける資源申請者証明書の管理画面.....	2
1.2. 資源申請者証明書の発行.....	3
1.2.1. 資源管理者が行う作業.....	3
1.2.2. 資源申請者が行う作業.....	5
1.3. 資源申請者証明書の失効.....	10
1.3.1. 資源管理者が行う作業.....	10
1.3.2. 資源申請者が行う作業.....	11
1.4. 資源申請者証明書の再発行.....	12
1.4.1. 資源管理者が行う作業.....	12
1.4.2. 資源申請者が行う作業.....	13

1. 資源申請者証明書の管理

本マニュアルでは、資源管理者証明書を使って資源申請者証明書を発行したり失効したりする方法を説明します。資源申請者証明書は、IP アドレスの追加割り振り申請等を行うために使われる電子証明書で、IP アドレス・AS 番号の申請業務を行う各々のユーザー（資源申請者）に発行します。

資源管理者は、新規の発行だけでなく、有効期限を新しくするための「再発行」や、Web 申請システム等へのアクセスを無効化するための「失効」を行い、資源申請者証明書を管理します。



本マニュアルでは、はじめに Web 申請システムにおける電子証明書の管理画面について説明し、次に資源申請者証明書の発行・失効・再発行の手順を説明します。

1.1. Web 申請システムにおける資源申請者証明書の管理画面

資源申請者証明書は、基本的に、Web 申請システムを使って管理します。

1.1.1. 資源申請者証明書の管理画面

資源管理者証明書を使って Web 申請システムにログインしてください。その後、「資源管理者メニュー」の「電子証明書管理」を選択します。「資源管理者」及び「資源申請者」欄に“>>>証明書”リンクが表示されます。これは、電子証明書に関するアカウントを管理する際に利用されるリンクとなります。

- ▶ 「資源管理者」欄
“>>>証明書” → 2. 資源管理者証明書
- ▶ 「資源申請者」欄
“>>>証明書” → 3. 資源申請者証明書

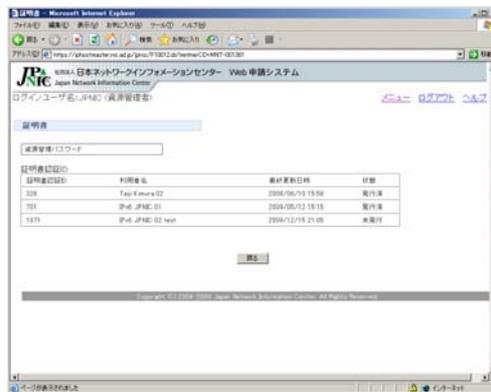


1.1.2. 資源管理者証明書

現在発行されている資源管理者の証明書に関する設定状況が一覧形式で表示されます。

資源管理者自身の証明書に関する設定変更は、当画面からは行うことができません。以下をご参照下さい。

電子証明書を用いた申請者認証について
<http://www.nic.ad.jp/doc/lir-certificate-guide.html>

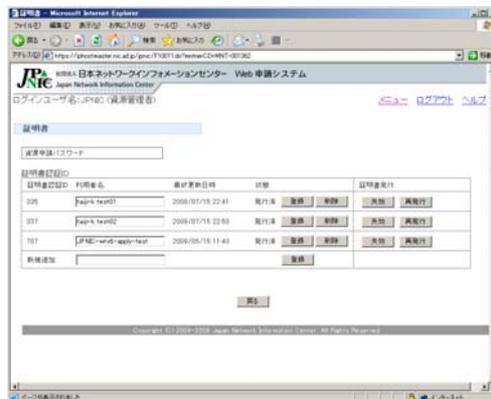


1.1.3. 資源申請者証明書

現在発行されている資源申請者の証明書に関する設定状況が一覧形式で表示されます。

資源申請者の証明書アカウント操作は、当画面で可能となります。各種手順は以下項目を参照してください。

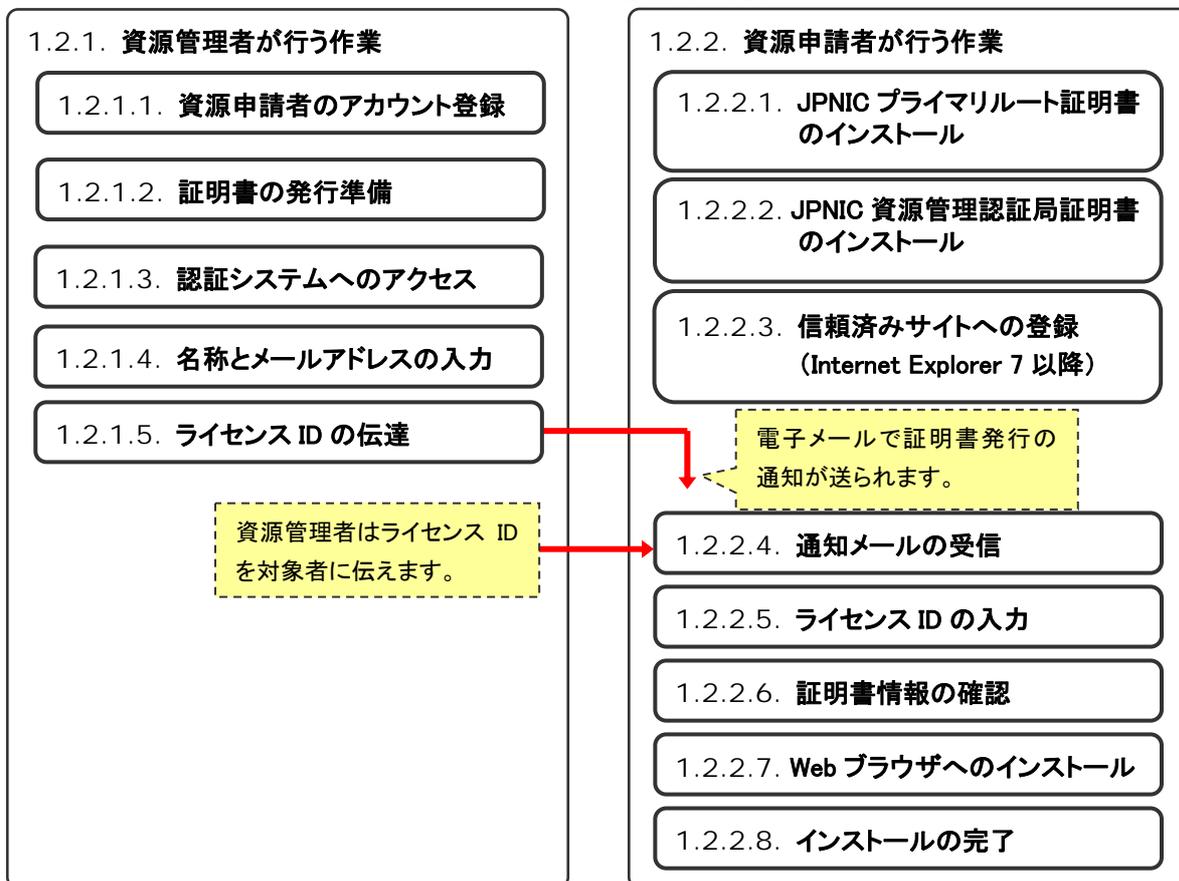
- ▶ 資源申請者証明書の発行(1.2)
- ▶ 資源申請者証明書の失効(1.3)
- ▶ 資源申請者証明書の再発行(1.4)



1.2. 資源申請者証明書の発行

資源申請者証明書の発行手順を以下に示します。資源申請者証明書の一つ一つに必要な ID の発行は、Web 申請システムの機能を使って行います、実際の証明書発行は、リンク先の認証局システムで行われます。

資源申請者証明書発行の流れ



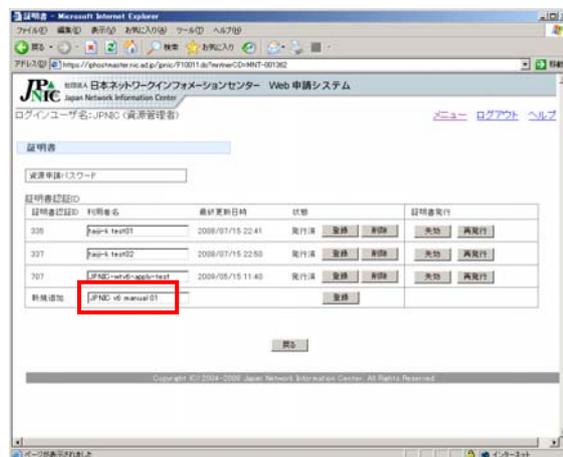
1.2.1. 資源管理者が行う作業

1.2.1.1. 資源申請者のアカウント登録

証明書を利用する利用者名を入力し、“登録”ボタンを押下してください。証明書認証 ID が採番され一覧に表示されます。

※証明書認証 ID とは、Web 申請システムのログイン後表示される資源管理者 ID (指定事業者 ID)とは異なります。これは証明書アカウントに対するユニーク ID であり、システムで採番されます。証明書認証 ID の変更はできません。

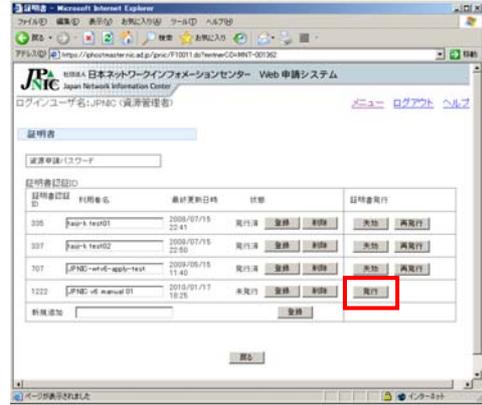
※この時点では、アカウントの登録であり、電子証明書の発行とは異なります。



1.2.1.2. 証明書の発行準備

発行対象のアカウントに対して電子証明書を発行するために、“発行”ボタンを押下してください。

⚠ 注意
証明書認証ID一覧の“削除”ボタンは、あくまでもアカウントを対象にした削除であり、証明書失効とは異なります。証明書がある状態で“削除”ボタンを押下すると、その資源申請者証明書で Web 申請システムにログインすることができなくなります。ご注意ください。



1.2.1.3. 認証システムへのアクセス

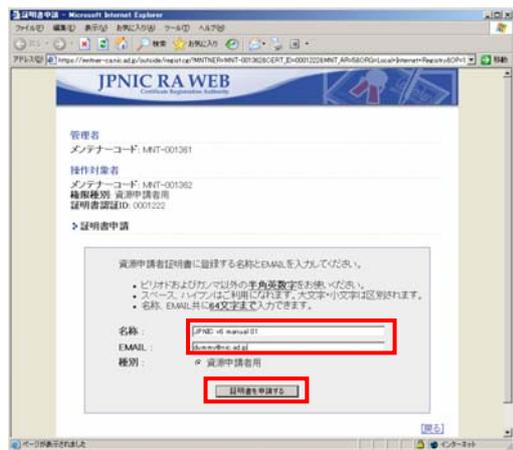
認証局システムへ画面が移動します。アクセスする際に資源管理者である事を認証するために、ご利用のクライアント証明書(資源管理者証明書)を選択し、“OK”ボタンを押下してください。



1.2.1.4. 名称とメールアドレスの入力

認証が成立すると、認証局システム「証明書申請」画面が表示されます。発行対象の名称(アルファベット)と、EMAIL(メールアドレス)を入力し、“証明書を申請する”ボタンを押下してください。

※EMAIL は正しく入力してください。後の対象者に対する証明書発行申請通知で利用されます。

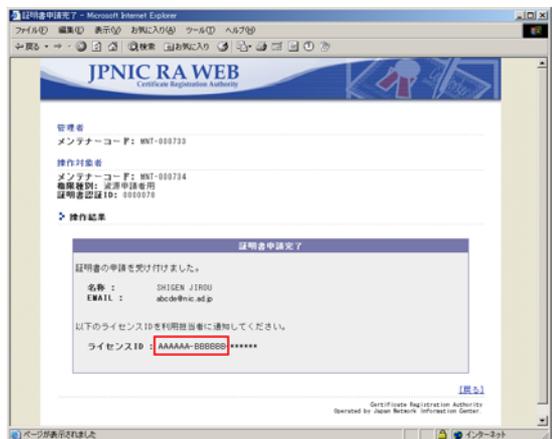


1.2.1.5. ライセンス ID の伝達

「証明書申請完了」画面となります。

ライセンス ID が3ブロックに分かれており、そのうち2ブロックは当画面で表示されます。最後の1ブロックは、証明書申請時に入力された EMAIL 宛に通知されています。

当画面で表示されているライセンス ID を実際ご利用となる担当者へオフライン(対面など)で本人確認をした上でお伝えください。



1.2.2. 資源申請者が行う作業

1.2.2.1. JPNIC プライマリルート認証局証明書のインストール

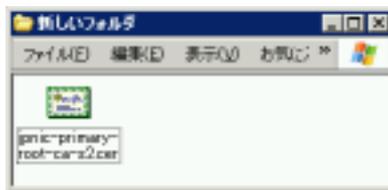
1. 下記の Web ページから「JPNIC プライマリルート認証局証明書」をダウンロードします。

JPNIC 認証局
<http://jpnica-ca.nic.ad.jp/>



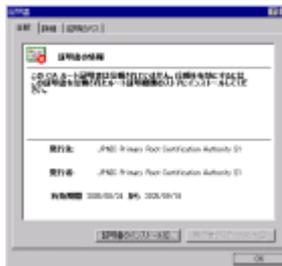
2. 保存した「JPNIC プライマリルート認証局証明書」のファイルをダブルクリックします。

(通常、保存されたファイルのファイル名は jpnica-primary-root-ca-s2.cer または jpnica-primary-root-ca-s2 になります)



3. 今の段階では「証明書は信頼されていません。」と表示されます。「証明書のインストール」ボタンをクリックしてください。

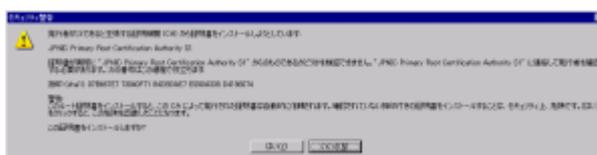
⇒証明書のインポートウィザードが表示されます。



4. インポートウィザードでは「次へ」ボタンをクリックして進みます。「証明書ストア」では「証明書をすべて次のストアに配置する(P)」で「参照(B)...」をクリックし「信頼されたルート証明機関」を選択します。最後に「完了」ボタンをクリックしてください。



5. まだ信頼されていない認証局証明書をインストールしようとしているため、セキュリティ警告ダイアログボックスが表示されます。



証明書の拇印と JPNIC プライマリルート証明書のフィンガープリントの値が異なる場合には証明書の安全性を確認できません。“いいえ”ボタンをクリックして設定作業を中止してください。

※SHA-1により算出したフィンガープリントは、40桁の16進数であり、「0」～「9」及び「A」～「F」の文字の組合せで示されます。ただし、フィンガープリントを表示するソフトウェアの種類又はバージョンにより、大文字又は小文字の相違等表示方法が異なることがあります。

7. 確認後は、「はい」ボタンをクリックしてください。正しくインポートされたことが表示されます。

【保存したファイル】保存した JPNIC プライマリルート認証局のファイルはインストール後削除しても問題ありません。

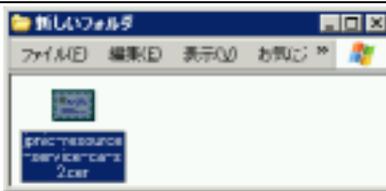
1.2.2.2. JPNIC 資源管理認証局証明書のインストール

1. 下記の Web ページから「JPNIC 資源管理認証局証明書」をダウンロードします。

JPNIC 認証局
<https://jpnica-nic.ad.jp/>



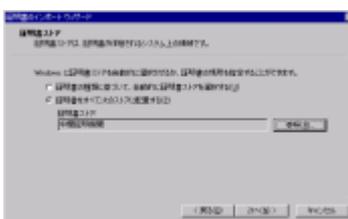
2. 保存した「JPNIC 資源管理認証局証明書」のファイルをダブルクリックします。
(通常、保存されたファイルのファイル名は jpnica-resource-service-ca-s2.cer または jpnica-resource-service-ca-s2 になります)



3. 「証明書のインストール」ボタンをクリックしてください。



4. インポートウィザードでは「次へ」ボタンをクリックして進みます。「証明書ストア」では「証明書をすべて次のストアに配置する(P)」で「参照(B)...」をクリックし「中間証明機関」を選択します。最後に「完了」ボタンをクリックしてください。



5. 「正しくインポートされました。」というダイアログボックスが評されたら「OK」ボタンをクリックしてください。



JPNIC プライマリルート認証局の証明書がインストールされているため、JPNIC 資源管理認証局の証明書は自動的に有効であることが確認されます。有効性に関するエラーメッセージが表示された場合には、JPNIC 資源管理認証局の証明書のインストールを中止し、JPNIC にお知らせ下さいませよう、お願いいたします。

【保存したファイル】保存した JPNIC 資源管理認証局のファイルはインストール後削除しても問題ありません。

1.2.2.3. 信頼済みサイトへの登録(Internet Explorer 7 以降)

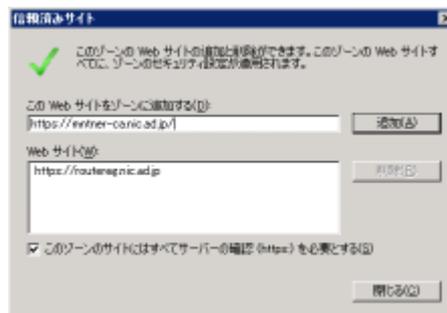
1. Internet Explorer を起動し、「ツール(T)」 「インターネット オプション(O)...」の「セキュリティ」タブを開きます。
更に「信頼済みサイト」を選択して「サイト(S)」ボタンをクリックします。



2. 以下の URL を入力して「追加(A)」ボタンをクリックします。

<https://mntner-ca.nic.ad.jp/>

Web サイト(W)のテキスト欄に追加されたら「閉じる(C)」をクリックします。



1.2.2.3. 通知メールの受信

システムより証明書の発行対象者へ電子メールにて通知が行われます。メールの本文に以下が書かれています。

- ・ メンテナコード
- ・ 証明書認証 ID (認証 ID の欄)
- ・ 発行対象者の名称
- ・ メールアドレス
- ・ ライセンス ID

ライセンス ID については、3ブロックの最終ブロックのみ記載されています。残りの2ブロックは資源管理者にお問合せください。

電子メールに記載されているサイトへアクセスしてください。

管理者により、電子証明書発行の申請が行われました。

メンテナコード: MNT-000734
認証ID: 0000078

名称: SHIGEN JIROU
EMAIL: abcde@nic.ad.jp

証明書の発行に必要なライセンスIDの下6桁の文字列は以下の通りです。残りの上12桁の文字列は、管理者よりお受け取りください。

ライセンスID: *****-*****-BBB888

ライセンスIDを入手し、証明書の発行を行なう場合は以下のサイトにアクセスしてください。

<https://mntner-ca.nic.ad.jp/outenroll/enroll.cgi>

初回アクセス時には、「セキュリティの警告」を示すダイアログが表示されますが、「はい」ボタンをクリックし、続行してください。

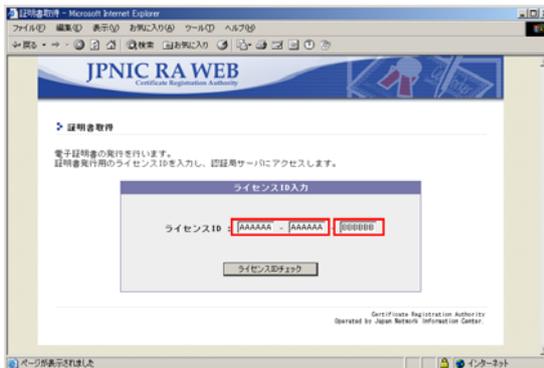
秘密鍵と公開鍵のペアはお使いの PC にて生成され、秘密鍵はローカル PC に保管されます。証明書が発行されると同時に、証明書がローカル PC にインストールされます。

JPNIC 証明書レジストレーションサービス

※アクセスする際に、電子証明書選択要求ダイアログが表示されますが、クライアント認証を行う必要がないため、何も選択せずに(キャンセルをクリックするなど)進んで構いません。

1.2.2.4. ライセンス ID の入力

「証明書取得」画面が表示されます。ライセンス ID の入力欄がありますので、確認して頂いた3ブロックの文字列を入力し、「ライセンス ID チェック」ボタンを押下してください。システム内でライセンス ID の確認と、電子証明書発行準備を行います。



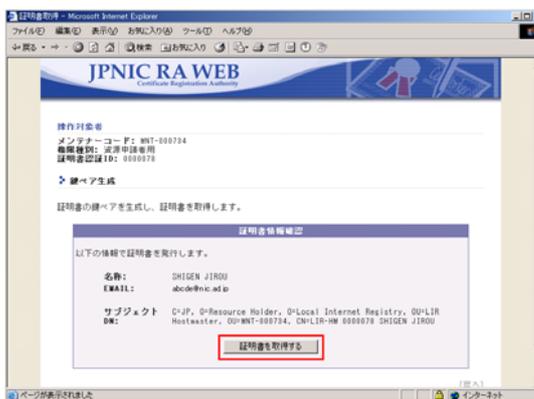
1.2.2.5. 証明書情報の確認

登録されている証明書情報が画面に表示されます。

「1.2.2.3.」で通知されている名称及びメールアドレスと一致している事を確認してください。確認ができましたら、「証明書を取得する」ボタンを押下してください。

「証明書をインストール」ボタンを押下すると、以下の警告ダイアログボックスが表示されます。これはユーザが意図していないような、不正な電子証明書が Web ブラウザにインストールされることを防ぐために表示されるダイアログボックスです。

アクセスしているサーバが JPNIC のものであることを確認します。「はい」ボタンを押下すると処理が次に進みます。

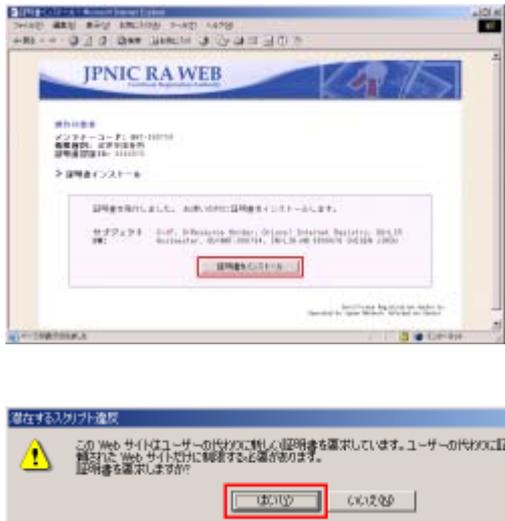


1.2.2.6. Web ブラウザへのインストール

「証明書インストール」画面が表示されます。ご利用の PC へインストールを開始しますので、「証明書をインストール」ボタンを押下してください。

“証明書をインストール”ボタンを押下すると、以下の警告ダイアログボックスが表示されます。これはユーザが意図していないような、不正な電子証明書が Web ブラウザにインストールされることを防ぐために表示されるダイアログボックスです。

アクセスしているサーバが JPNIC のもの(ドメイン名が nic.ad.jp で終わっていること)であることを確認します。“はい”ボタンを押下すると処理が次に進みます。



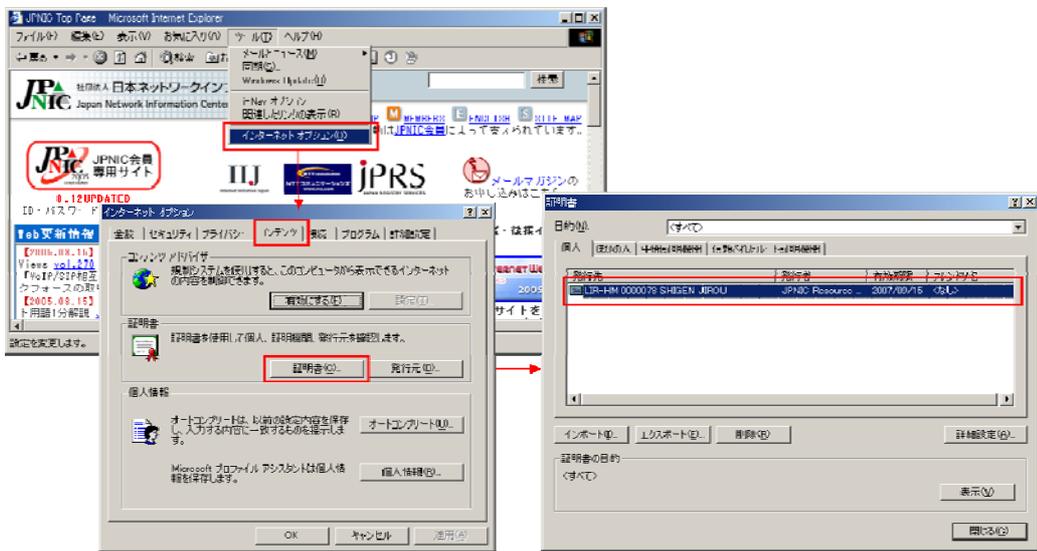
1.2.2.7. インストールの完了

「証明書インストール完了」画面が表示されます。これでお使いのブラウザへのインストールは完了です。



【参照. インストールの確認方法】

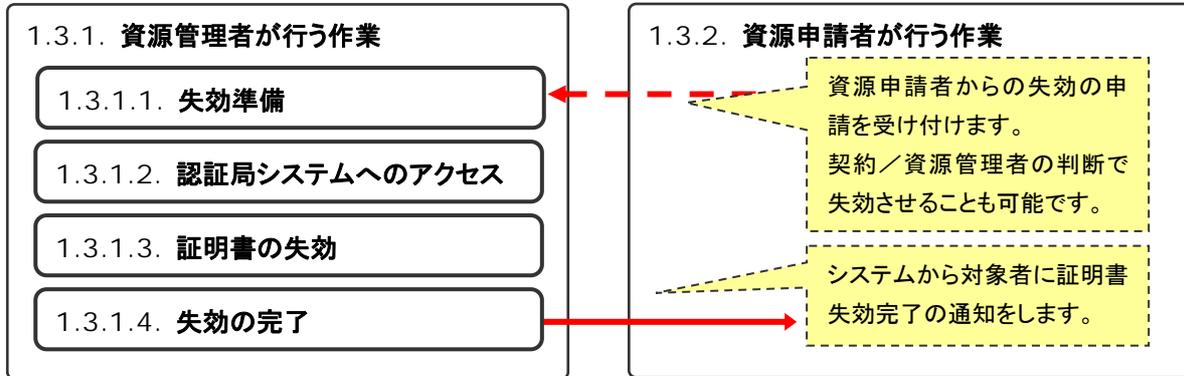
ご利用の Web ブラウザにインストールされたことを確認するには、ブラウザの“ツール”メニューの“インターネットオプション”を選択します。「インターネットオプション」画面が表示されますので、“コンテンツ”タブを選択し“証明書”ボタンを押下してください。表示される「証明書」画面の個人タブにインストールされた証明書が表示されれば OK です。



1.3. 資源申請者証明書の失効

資源申請者証明書の失効手順を以下に示します。失効は、資源申請者の異動があったり、資源申請者証明書がインストールされた PC を使わなくなったようなときに行います。失効された資源申請者証明書では、Web 申請システムにログインすることはできません。

資源申請者証明書失効の流れ



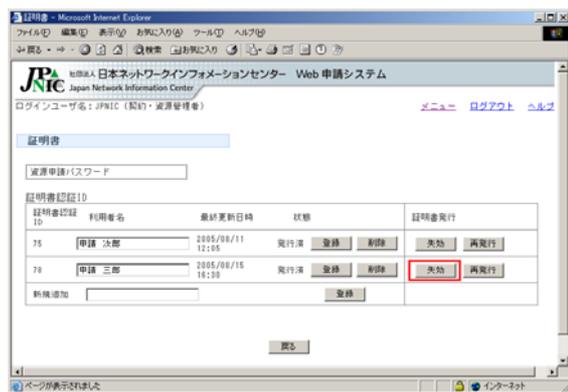
1.3.1. 資源管理者が行う作業

1.3.1.1. 失効準備

失効対象のアカウントの“失効”ボタンを押下してください。

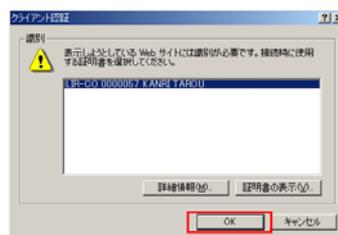
注意

証明書認証 ID 一覧の“削除”ボタンは、あくまでもアカウントを対象にした削除であり、証明書失効とは異なります。“削除”された資源申請者証明書でも Web 申請システムにログインすることはできません。



1.3.1.2. 認証局システムへのアクセス

認証局システムへ画面が移動します。アクセスする際に資源管理者であることを認証するために、ご利用の資源管理者証明書を選択し、“OK”ボタンを押下してください。



1.3.1.3. 証明書失効

認証が成立すると、認証局システム「証明書失効」画面が表示されます。

失効対象の証明書に関する情報が表示されますので内容を確認し、“証明書を失効する”ボタンを押下してください。



1.3.1.4. 証明書失効完了

証明書失効完了となります。該当証明書に設定されているメールアドレス宛に失効完了が通知されます。



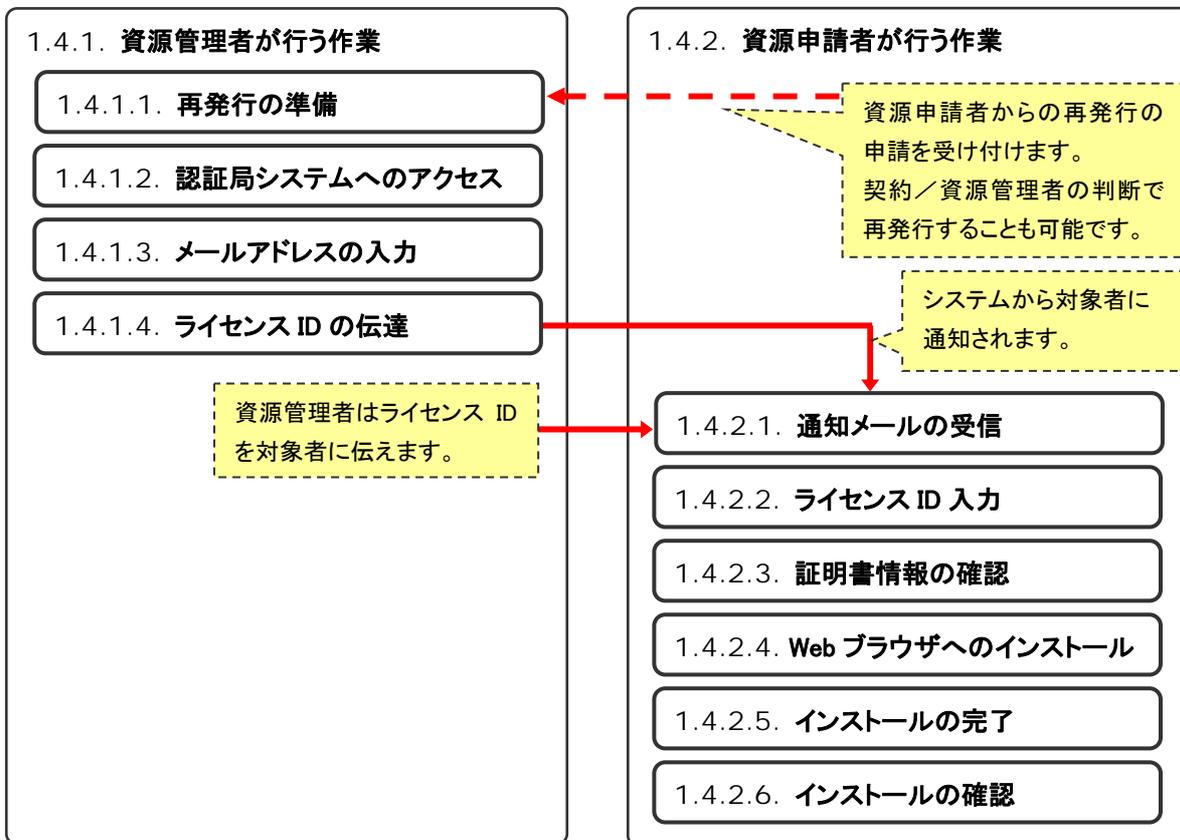
1.3.2. 資源申請者が行う作業

資源申請者が実施する作業は特にありません。

1.4. 資源申請者証明書の再発行

資源申請者電子証明書の再発行手順を、以下に示します。再発行は、資源申請者のメールアドレスが変わった場合や、新たな有効期限を持つ資源申請者証明書を発行するために行います。

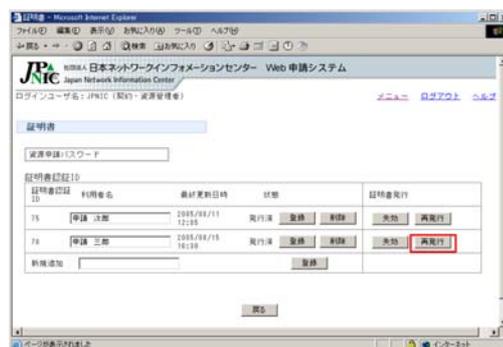
資源申請者証明書再発行の流れ



1.4.1. 資源管理者が行う作業

1.4.1.1. 再発行の準備

再発行対象のアカウントの“再発行”ボタンを押下してください。



1.4.1.2. 認証局システムへのアクセス

認証局システムへ画面が移動します。アクセスする際に資源管理者であることを認証するために、ご利用の資源管理者証明書を選択し、“OK”ボタンを押下してください。

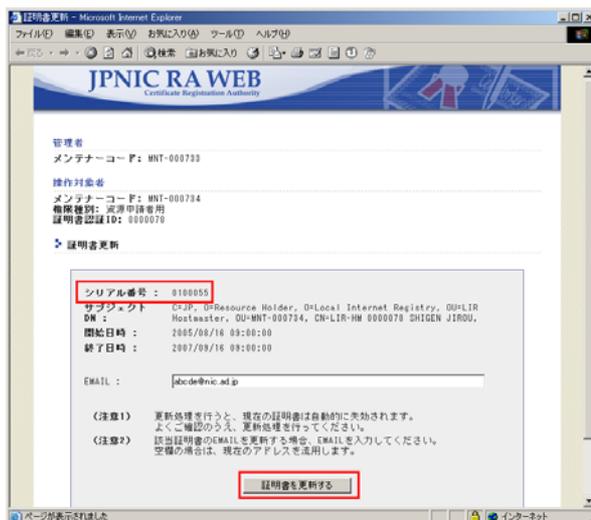


1.4.1.3. メールアドレスの入力

認証局システムで認証が確立すると「証明書更新」画面が表示されます。
後に、実際に利用される担当者へ伝える必要があるため、画面に表示されている「シリアル番号」を控えてください。

EMAIL を変更する際には、当画面で変更のうえ、「証明書を更新する」ボタンを押下してください。

※EMAIL は正しく入力してください。後の対象者に対する証明書発行申請通知で、そのメールアドレスが利用されます。

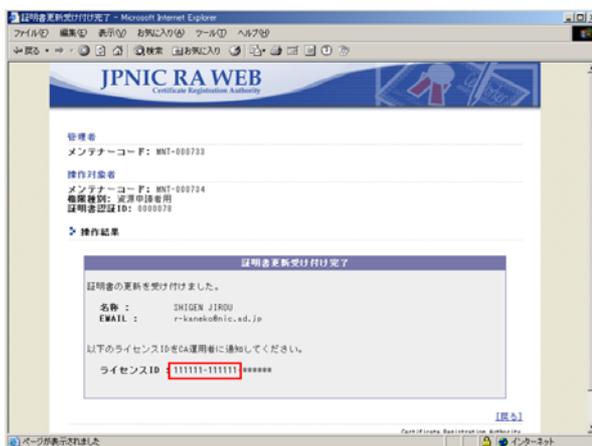


1.4.1.4. 証明書再発行申請完了

「証明書更新受付完了」画面となります。

ライセンス ID が3ブロックに分かれており、そのうち2ブロックは当画面で表示されます。最後の1ブロックは、証明書申請時に入力された EMAIL 宛に通知されます。

当画面で表示されているライセンス ID と「1.4.1.3. メールアドレスの入力」で控えてある「シリアル番号」を実際ご利用となる担当者へオフライン(対面など)で本人確認をした上でお伝えください。



1.4.2. 資源申請者が行う作業

1.4.2.1. 通知メールの受信

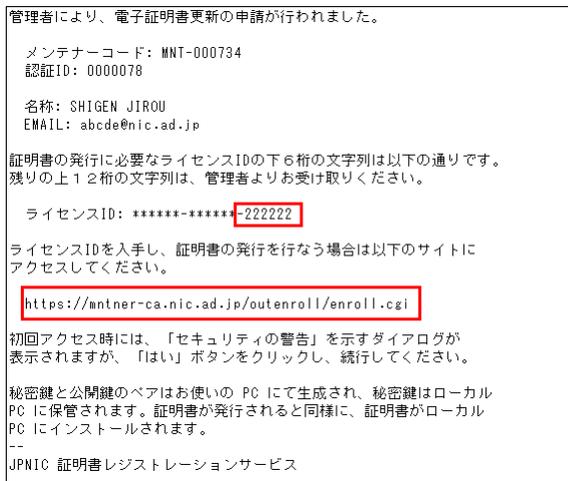
資源管理者より証明書申請が行われた対象者へ電子メールにて通知されます。メールの本文に以下が書かれています。

- ・メンテナーコード
- ・証明書認証 ID (認証 ID の欄)
- ・発行対象者の名称
- ・メールアドレス
- ・ライセンス ID

ライセンス ID については、3ブロックの最終ブロックのみ記載されています。残りの2ブロックは資源管理者にお問合せください。

電子メールに記載されているサイトへアクセスしてください。

※アクセスする際に、電子証明書選択要求ダイアログが表示されますが、何も選択せずに(キャンセルをクリックするなど)進んで構いません。



1.4.2.2. ライセンス ID の入力

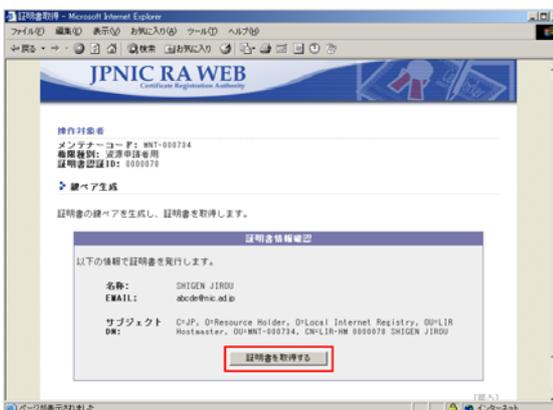
「証明書取得」画面が表示されます。ライセンス ID の入力欄がありますので、確認して頂いた3ブロックの文字列を入力し、“ライセンス ID チェック”ボタンを押下してください。システム内でライセンス ID の確認と、資源申請者証明書再発行の準備を行います。



1.4.2.3. 証明書情報の確認

システム内でライセンス ID に登録されている証明書情報が画面に表示されます。「1.4.2.1.」で通知されている名称及び EMAIL と一致していることを確認してください。確認ができましたら、“証明書を取得する”ボタンを押下してください。

“証明書をインストール”ボタンを押下すると、以下の警告ダイアログボックスが表示されます。これはユーザが意図していないような、不正な電子証明書が Web ブラウザにインストールされることを防ぐために表示されるダイアログボックスです。



アクセスしているサーバが JPNIC のものであることを確認します。
“はい”ボタンを押下すると処理が次に進みます。



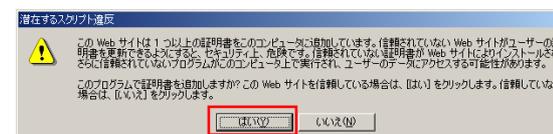
1.4.2.4. Web ブラウザへのインストール

「証明書インストール」画面が表示されます。ご利用の PC へインストールを開始しますので、“証明書をインストール”ボタンを押下してください。

“証明書をインストール”ボタンを押下すると、以下の警告ダイアログボックスが表示されます。これはユーザが意図していないような、不正な電子証明書が Web ブラウザにインストールされることを防ぐために表示されるダイアログボックスです。



アクセスしているサーバが JPNIC のものであることを確認します。
“はい”ボタンを押下すると処理が次に進みます。



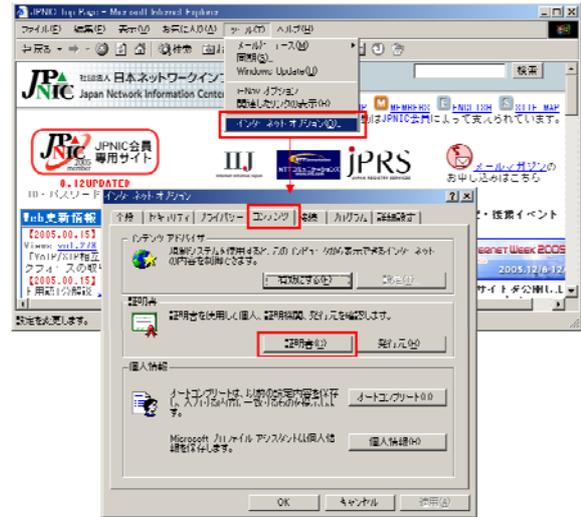
1.4.2.5. インストールの完了

暫くお待ち頂くと「証明書インストール完了」画面が表示されます。これでお使いの PC 及びブラウザへのインストールが完了となります。



1.4.2.6. インストールの確認

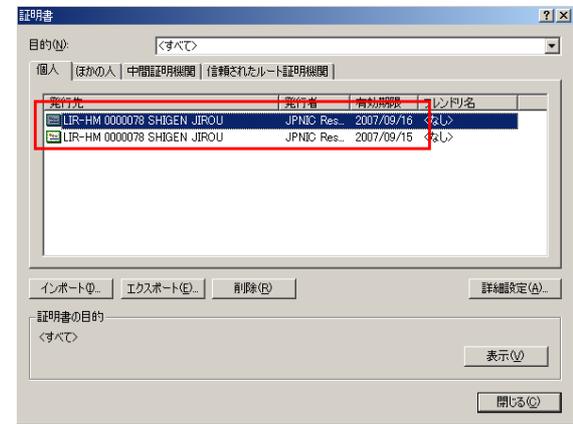
ブラウザの“ツール”メニューの“インターネットオプション”を選択します。「インターネットオプション」画面が表示されますので、“コンテンツ”タブを選択し“証明書”ボタンを押下してください。



「証明書」画面が表示されます。再発行と再発行前の資源申請者証明書のインストール先が同一 PC の場合に、“個人”タブの証明書リストには、同一発行先名の資源申請者証明書が複数表示されます。再発行する以前に発行した証明書はご利用できませんので削除することをお勧めします。有効な証明書の判定は、以下のいずれかになります。

■ 有効期限開始日判定

証明書リストには有効期限の開始日が表示されています。インストールした日付が設定されているのが有効な証明書となります。



■ 証明書シリアル番号判定

有効期限の開始日が同一の場合は、資源申請者証明書のシリアル番号で判断する必要があります。

⇒【参照. 証明書シリアル番号判定】

不要な資源申請者証明書を PC から削除するには、削除対象の証明書を証明書リストより選択し、“削除”ボタンを押下します。

【参照. 証明書シリアル番号判定】

「証明書」画面の証明書リストで資源申請者証明書を選択し、画面下部の“表示”ボタンを押下すると、個々の資源申請者証明書のフィールドが表示されます。

“詳細設定”タブを選択し、フィールドのシリアル番号値を、資源管理者より通知された「シリアル番号」で比較することが可能です。

